

科目	ビジネス実務 I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	セレーノ・コーポレーション	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>キャリアについて再度考え、自己PR動画を作成し就職活動等で活用できる力を身につける。その他、動画をアップする際のSNS対策や面接の対応についても学びを深める。          本授業は2コマ連続講座となり、11~14コマは同一日に集中してタッチクラスアプリを活用した自己PR術を学ぶ          なお、本授業は表現学科の学習成果④に対応する。</p>		
到達目標	<p>インターシップ・就職に向けての基本的社会人力を身に着け、さらに就職後IT活用・SNS対策など社内で必要とされる社会人基礎力を上げることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で学んだ学習内容、自己紹介、PRを動画として作成する取り組み姿勢を評価します。</li> <li>・動画の撮影、編集テクニックの技術（知識技能）の修得度を評価します。</li> </ul>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	キャリアデザインについて振り返り①（4/24）	キャリアについて考える（予習30分）授業の振り返り（復習30分）	
2.	キャリアデザインについて振り返り②（4/24）	キャリアについて考える（予習30分）授業の振り返り（復習30分）	
3.	動画制作のアイデア・プロフィールについて①（5/1）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
4.	動画制作のアイデア・プロフィールについて②（5/1）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
5.	グループで動画制作・自己紹介動画基本①（5/8）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
6.	グループで動画制作・自己紹介動画基本②（5/8）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
7.	動画撮影のテクニックと編集①（5/15）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
8.	動画撮影のテクニックと編集②（5/15）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
9.	トータルで自己紹介・動画制作を考える①（5/22）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
10.	トータルで自己紹介・動画制作を考える②（5/22）	動画のアイデアを考える（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
11.	タッチクラス導入と使い方①（5/27）	タッチクラスを予習する（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
12.	タッチクラス導入と使い方②（5/27）	タッチクラスを予習する（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
13.	タッチクラス導入と使い方③（5/27）	タッチクラスを予習する（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
14.	タッチクラス導入と使い方④（5/27）	タッチクラスを予習する（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
15.	まとめ（5/29）4限目のみ	これまでの内容を振り返る（予習30分）授業を振り返る（復習30分）	
教科書	別途配布		
参考書			
学習成果の評価方法	取り組み姿勢（50%）動画作成の知識、技能の修得（30%）動画の完成度（20%）		
特記すべき事項			
質問・相談の受付	授業時に随時受け付けます。		

科目	ビジネス実務Ⅱ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>企業研究の仕方や企業訪問依頼の連絡の仕方など、実践を通じて学ぶ。          個人の目標を持ち、グループを企業組織に見立て協力体制や業務効率化を意識して取り組み実践的に学ぶ。          企業訪問にご協力頂く企業の方々との対談や雑談を通じて、業界や職種について実務内容を学ぶ。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス実務の意義と内容、ビジネス実務実践の基本となる業務マネジメントを理解し、デジタル情報を活用できる。</li> <li>・チームづくりの基本知識と実践方法を理解し、それを他者に説明することができる。</li> <li>・ビジネス実務に必要な話し方・言葉遣い・応対、メモ・報告・連絡・相談・ビジネス文書作成・データ処理などの一連の実務を実践できる。</li> </ul>		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回の企業訪問を通じて作成する「計画書」と「報告書」等において、段階的な変化や改善がレポートされているかを評価する。</li> <li>・周囲の状況を見ながら行動する態度と、よく聴こうとする姿勢や自分なりの意見を聴き手に分かりやすく伝えようとする姿勢を評価する。</li> <li>・総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。</li> </ul>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	<p>オリエンテーション（目標設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問の意義と内容、希望訪問先企業をリスト化</li> <li>・iPadで「企業訪問計画書1」、写真入り学生「名刺」作成</li> </ul>	<p>予習30分：インターネットハローワークで求人検索          復習30分：訪問予定企業研究と質問</p>	
2.	<p>業種と職種について（手書きメモ帳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職種についてセルフワークとグループディスカッション</li> <li>・プレストで質問事項を1人1問分準備、自己PR動画</li> </ul>	<p>予習30分：「企業訪問アポ取り」動画視聴          復習30分：「企業訪問計画書1」</p>	
3.	<p>訪問準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話内容の準備とメモの取り方、アポイントの取り方</li> <li>・企業訪問当日「時間管理表」作成、「企業訪問計画書1」の提出</li> </ul>	<p>予習30分：「企業訪問のマナー」動画視聴          復習30分：「時間管理表」に各自</p>	
4.	<p>第1回 企業訪問（現地集合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介と企業訪問の目的について</li> <li>・企業側の会社説明と見学時のメモ、質疑応答</li> </ul>	<p>予習30分：「座談会の質問」動画視聴と発声演習          復習30分：「企業訪問報告書1」</p>	
5.	<p>第1回 企業訪問（現地解散）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業担当者様との対談、雑談、お礼の挨拶</li> <li>・「企業訪問報告書1」の作成</li> </ul>	<p>予習30分：「訪問時のチェックリスト」作成          復習30分：報告書、電話対応のマ</p>	
6.	<p>企業訪問振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業訪問報告書1」の発表</li> <li>・振り返りセルフワークとグループミーティング「反省点と改善点」</li> </ul>	<p>予習30分：「企業訪問報告書1」の発表演習          復習30分：改善点を計画書2に反</p>	
7.	<p>訪問準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話内容の準備とメモの取り方、アポイントの取り方</li> <li>・次回「企業訪問計画書2」「企業訪問時のチェックリスト」の作成</li> </ul>	<p>予習30分：「企業訪問計画書2」の改善          復習30分：訪問先の企業研究をま</p>	
8.	<p>第2回 企業訪問（現地集合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介と企業訪問の目的について</li> <li>・企業側の会社説明と見学時のメモ、質疑応答</li> </ul>	<p>予習30分：メモや質問の内容を整理          復習30分：訪問による業種・職種</p>	
9.	<p>第2回 企業訪問（現地解散）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業担当者様との対談、雑談、お礼の挨拶</li> <li>・「企業訪問報告書2」の作成</li> </ul>	<p>予習30分：雑談内容を複数メモに準備          復習30分：「企業訪問報告書2」</p>	
10.	<p>企業訪問振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業訪問報告書2」の発表</li> <li>・振り返りセルフワークとグループミーティング「反省点と改善点」</li> </ul>	<p>予習30分：雑談力の参考動画を視聴          復習30分：次の訪問先企業研究と</p>	
11.	<p>訪問準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話内容の準備とメモの取り方、アポイントの取り方</li> <li>・自己PR動画を企業へ配布、次回「企業訪問計画書3」の作成</li> </ul>	<p>予習30分：名刺交換のマナー動画を視聴          復習30分：「計画書3」の完成</p>	
12.	<p>第3回 企業訪問（現地集合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介と企業訪問の目的について</li> <li>・企業側の会社説明と見学時のメモ、質疑応答</li> </ul>	<p>予習30分：一流の企業訪問マナー動画を視聴          復習30分：良かった点を探してメ</p>	
13.	<p>第3回 企業訪問（現地解散）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業担当者様との対談、雑談、お礼の挨拶</li> <li>・「企業訪問報告書3」の作成</li> </ul>	<p>予習30分：訪問メモと報告書から改善点整理          復習30分：「企業訪問報告書3」</p>	
14.	<p>企業訪問振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業訪問報告書3」の発表</li> <li>・振り返りセルフワークとグループミーティング「反省点と改善点」</li> </ul>	<p>予習30分：「企業訪問報告書3」の発表提出準備          復習30分：3回の訪問の感想をま</p>	
15.	<p>ビジネス実務Ⅱのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフワークとグループワーク「良かった点と企業訪問の経験で得た強み」</li> <li>・PDCA自己評価と他者評価レポート</li> </ul>	<p>予習30分：職種選択の幅を広げて求人検索          復習30分：1分自己紹介と学校紹</p>	
教科書	講師のオリジナル資料		
参考書	ビジネスマナー情報、動画		
学習成果の評価方法	授業態度（10%）メモ帳活用（20%）提出レポート（50%）質疑応答・コミュニケーション（20%）		
特記すべき事項	企業訪問計画書と報告書作成には、各自iPad（学内）のGoogleアプリを活用する。不明な点は、気になった時に、即、報告、連絡、相談すること。		
質問・相談等の受付	授業期間内、いつでも質問・相談を受け付けます。		

科目	表現研究Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後集中 選択、専門科目
担当者	河本章宏・岡 幸二郎・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までを実践的に学びます。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 (1)譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 (2)楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 (3)身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートを譜読みする	ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
2.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートを分析し、歌う	発声・呼吸法(予習30分・復習30分)	
3.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートを歌い込む	発声・呼吸法・譜読み(予習30分・復習30分)	
4.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートを歌い込む	発声・呼吸法・譜読み(予習30分・復習30分)	
5.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
6.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
7.	ミュージカル楽曲(1)のソロパートを発表する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
8.	ミュージカル楽曲(2)のデュエットを譜読みする	発声・呼吸法・譜読み(予習30分・復習30分)	
9.	ミュージカル楽曲(2)のデュエットを分析し、歌う	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
10.	ミュージカル楽曲(2)のデュエットを歌い込む	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
11.	ミュージカル楽曲(2)のデュエットを歌い込む	感情・歌・動きを整理する(予習30分・復習30分)	
12.	ミュージカル楽曲(2)にデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情・歌・動きを整理する(予習30分・復習30分)	
13.	ミュージカル楽曲(2)のデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情・歌・動きを整理する(予習30分・復習30分)	
14.	ミュージカル楽曲(2)のデュエットを発表する	客観的に振り返る(予習30分・復習30分)	
15.	まとめ・振り返り		
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科 目	表現研究Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	817°ロテュース	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	アニメの登場人物を演じる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	登場人物にふさわしい声色、表情、表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	人物の感情や状況をどのように捉え表現するかを、授業内発表で測り評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	台本の分析	オーディションの準備(予習30分) 台本を読み直す(復習30分)	
2.	オーディション	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
3.	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
4.	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
5.	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
6.	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
7.	シーン2を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
8.	シーン2を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
9.	シーン2を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
10.	シーン2を録音する	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
11.	シーン3を演じる	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
12.	シーン3を演じる	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
13.	シーン3を演じる	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
14.	シーン3を録音する	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
15.	まとめ	台本を読む(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
教科書	台本と映像を用意する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(30%) 授業内発表(40%)		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の受付			

科目	表現研究Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信・ボビー中西・金 世一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	想像の設定の中で真実を生きる。真の俳優になるためのリアリズム演技を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	自由で個性豊かな俳優としての基礎を身につけ、表現者として自らの課題を発見することが出来る。 演劇を通して深い人間理解を持ち、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する (1)状況に応じたリアルな感情表現が出来る。 (2)相手を受け入れて反応することが出来る。 (3)演出の意図をくみ取り演技をすることが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	PT体操後、身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分: 興味のある新聞記事を書き写す。 復習30分: 自己認識と自己意識を	
2.	「ゼロ」訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分: 興味のある新聞記事を書き写す。 復習30分: 自己認識と自己意識を	
3.	「ゼロ」(全身左右)訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分: 興味のある新聞記事を書き写す。 復習30分: 自己認識と自己意識を	
4.	パタン歩きの訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分: 興味のある新聞記事を書き写す。 復習30分: いい声とはどういう声	
5.	発声訓練を行う。(金 世一)	予習30分: 興味のある新聞記事を書き写す。 復習30分: いい声とはどういう声	
6.	読み歩き訓練を行う。(金 世一)	予習30分: 興味のある新聞記事を書き写す。 復習30分: いい声とはどういう声	
7.	トラスト練習(目隠し練習・観察・信頼)(ボビー中西)	予習30分: ウォーミングアップを行う。 復習30分: 授業内容を振り返る。	
8.	センスリーワーク(コーヒーカップ練習・暑さ、寒さの練習法)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: リラクゼーションを行う	
9.	アニマルワーク(動物の観察・動物になってみる)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 動物を観察し絵にする	
10.	レペテション①(相手を見る)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 怖い領域に飛び込むとは何か?をノートする	
11.	レペテション②(反応する)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 自己開示を理解しノートする	
12.	レペテション③(行動する)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 自分の中の嘘を発見し捨てていく	
13.	レペテション④(相手とつながる)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 相手に委ねて衝動に身を任せる	
14.	感情準備①(切迫した状況を演じる)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 切迫した状況を思い出して感じる	
15.	感情準備②(相手に委ね、自己を発見する)(ボビー中西)	予習30分: 下調べをする。 復習30分: 見られていない状況で感じるとは何かをノートする。	
教科書	プリント配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談の 受付	授業の前後に対応可		

科目	身体表現研究A-Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、パーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学習成果の評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	パーレッスン オウミリユール 1		
2.	パーレッスン オウミリユール 2		
3.	パーレッスン オウミリユール 3		
4.	パーレッスン オウミリユール 4		
5.	パーレッスン オウミリユール 5		
6.	パーレッスン オウミリユール 6		
7.	パーレッスン オウミリユール 7		
8.	パーレッスン オウミリユール 8		
9.	パーレッスン オウミリユール 9		
10.	パーレッスン オウミリユール 10		
11.	パーレッスン オウミリユール 11		
12.	前期のまとめ(アダジオ、アレグロ、ワルツ)		
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(50%) 授業内課題(50%)		
特記すべき事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することが望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い怪我に注意すること。		
質問・相談等の受付			

科 目	身体表現研究 A-IV	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授業時間外学習 予習・復習	
1.	バーレッスン オウミリユール 1		
2.	バーレッスン オウミリユール 2		
3.	バーレッスン オウミリユール 3		
4.	バーレッスン オウミリユール 4		
5.	バーレッスン オウミリユール 5		
6.	バーレッスン オウミリユール 6		
7.	バーレッスン オウミリユール 7		
8.	バーレッスン オウミリユール 8		
9.	バーレッスン オウミリユール 9		
10.	バーレッスン オウミリユール 10		
11.	バーレッスン オウミリユール 11		
12.	前期のまとめ (グランワルツ、コーダ)		
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することが望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い怪我に注意すること。		
質問・相談 の受付			

科 目	身体表現研究B-Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	福田真弓	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽に合わせて、身体表現することができる		
到達目標	基礎力を上げながら、身体表現できるようになる		
学習成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授業時間外学習 予習・復習	
1.	追加アイソレーション・ステップ①・コンビネーション①	振り付けの復習	
2.	追加アイソレーション・ステップ①・コンビネーション①	振り付けの復習	
3.	ステップ①・コンビネーション①人前発表	振り付けの復習	
4.	ピルエット・コンビネーション②	振り付けの復習	
5.	ピルエット・コンビネーション②	振り付けの復習	
6.	ピルエット・コンビネーション②人前発表	振り付けの復習	
7.	ピルエット・コンビネーション③	振り付けの復習	
8.	コンビネーション③	振り付けの復習	
9.	コンビネーション③人前発表	振り付けの復習	
10.	コンビネーション④	振り付けの復習	
11.	コンビネーション④	振り付けの復習	
12.	コンビネーション④人前発表		
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書	水分・身体のラインが見える服装・シューズ・タオル		
学習成果の 評価方法	授業態度 (60%) 予習復習 (20%) 試験 (20%)		
特記すべき 事項	髪の毛の長い人は結んでください		
質問・相談等 の受付			



科目	身体表現研究B-IV		開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	福田真弓		授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	基礎力・技術力を高めながら、振り付けを覚えることができ、表現できる			
到達目標	振り付けを早く正確に覚えることができ、音楽を感じて、身体表現することができる			
学習成果の 評価基準	授業態度・予習復習			
	授業計画（授業内容）			授業時間外学習 予習・復習
1.	コンビネーション⑤			振り付け・習ったステップの復習
2.	コンビネーション⑤			振り付け・習ったステップの復習
3.	コンビネーション⑤			振り付け・習ったステップの復習
4.	コンビネーション⑥			振り付け・習ったステップの復習
5.	コンビネーション⑥			振り付け・習ったステップの復習
6.	コンビネーション⑥			振り付け・習ったステップの復習
7.	コンビネーション⑦			振り付け・習ったステップの復習
8.	コンビネーション⑦			振り付け・習ったステップの復習
9.	コンビネーション⑦			振り付け・習ったステップの復習
10.	コンビネーション⑧			振り付け・習ったステップの復習
11.	コンビネーション⑧			振り付け・習ったステップの復習
12.	コンビネーション⑧試験			
13.				
14.				
15.				
教科書				
参考書	水分・身体のラインが見える服装・シューズ・タオル			
学習成果の 評価方法	授業態度（60%）予習復習（20%）試験（20%）			
特記すべき 事項	髪の長い人は結んでください			
質問・相談等 の受付				

科 目	身体表現研究C-Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では自らの身体について理解し鍛錬を積みシアターダンスの基礎を身に付けることができる。 自らの身体癖を理解しトレーニングを続ける事で積み重ねる事の大切さを知り、新しい事へ挑戦する事で自信に繋がり表現の幅を広げていく事ができます。		
到達目標	自らの課題に向き合い鍛錬を積み重ね表現者としてシアターダンスの基礎を身に付けることができる。		
学習成果の 評価基準	前期終了時にテストを行いその結果において評価する。 ①基礎 ②ニュアンス ③表現力		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	身体基礎①(ストレッチ・体幹トレーニング・バレエ基礎・クロスフロア・コンビネーション)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
2.	身体基礎②(ストレッチ・体幹トレーニング・バレエ基礎・クロスフロア・コンビネーション)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
3.	身体基礎③(ストレッチ・体幹トレーニング・バレエ基礎・クロスフロア・コンビネーション)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
4.	身体基礎④(ストレッチ・体幹トレーニング・バレエ基礎・クロスフロア・コンビネーション)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
5.	コンビネーションA(ステップを正確に覚える)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
6.	コンビネーションA(音楽を聞いて音に合わせて踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
7.	コンビネーションA(動きの流れを意識して踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
8.	コンビネーションA(アクセントを意識して踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
9.	コンビネーションB(オーディエンスを意識して踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
10.	コンビネーションB(振付のニュアンスを感じ取る)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
11.	コンビネーションB(仕上げ)	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
12.	前期試験	ストレッチ・体幹トレーニング・基本ステップの反復練習	
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(受講日数等50%) 授業内課題(50%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装での受講		
質問・相談の 受付	随時可		

科目	身体表現研究C-IV	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では自らの身体について理解し鍛錬を積みシアターダンスの基礎を身に付けることができる。 自らの身体癖を理解しトレーニングを続ける事で積み重ねる事の大切さを知り、新しい事へ挑戦する事で自信に繋が 表現の幅を広げていく事ができます。		
到達目標	自らの課題に向き合い鍛錬を積み重ね表現者としてダンスの基礎を身に付けることができる。		
学習成果の 評価基準	後期試験時にテストを行いその結果において評価する。 ①基礎 ②ニュアンス ③表現力		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	コンビネーションA(ステップを正確に覚える)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
2.	コンビネーションA(音楽を聞いて音に合わせて踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
3.	コンビネーションA(振付のニュアンスを感じ取る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
4.	コンビネーションA(振りの流れを意識して踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
5.	コンビネーションA(グループに分かれて発表)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
6.	コンビネーションB(ステップを正確に覚える)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
7.	コンビネーションB(音楽を聞いて音に合わせて踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
8.	コンビネーションB(振付のニュアンスを感じ取る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
9.	コンビネーションB(振りの流れを意識して踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
10.	コンビネーションB(オーディエンスを意識して踊る)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
11.	コンビネーションB(仕上げ)	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
12.	後期試験	ストレッチ・体幹トレーニング・ 基本ステップの反復練習	
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(受講日数等50%) 授業内課題(50%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装での受講		
質問・相談等 の受付	随時可		

科目	身体表現研究D-III	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽の基礎を学び、その表現方法を学ぶ講座です。 楽曲の仕組みと成り立ち、声帯の仕組み、呼吸法、発声法、楽譜の読み方、楽曲表現まで音楽理論を基礎から学びます。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 音楽を通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 (1)楽曲の理解と発声の仕組みを理解することが出来る。 (2)楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 (3)身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	音楽理論1(音楽から伝わるものを感じ、何を表現するべきかを考える)	ウォーミングアップ	
2.	音楽理論2(譜面の読み方・音楽基礎)	発声・呼吸法	
3.	音楽理論3(コードを学ぶ)	発声・呼吸法・譜読み	
4.	音楽理論4(発声法・呼吸法)	発声・呼吸法・譜読み	
5.	音楽理論5(楽曲1を府読みする)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6.	音楽理論6(感情と身体を使い楽曲1を表現する)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7.	音楽理論7(楽曲1のハーモニーを合唱する)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8.	音楽理論8(楽曲1をチームごとに発表する)	発声・呼吸法・譜読み	
9.	音楽理論9(楽曲2を府読みする)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
10.	音楽理論10(感情と身体を使い楽曲2を表現する)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
11.	音楽理論11(楽曲2のハーモニーを合唱する)	感情・歌・動きを整理する	
12.	音楽理論12(楽曲2をチームごとに発表する)		
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科 目	身体表現研究D-IV	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽の基礎を学び、その表現方法を学ぶ講座です。 楽曲の仕組みと成り立ち、声帯の仕組み、呼吸法、発声法、楽譜の読み方、楽曲表現まで音楽理論を基礎から学びます。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 音楽を通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 (1)楽曲の理解と発声の仕組みを理解することが出来る。 (2)楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 (3)身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	楽曲3を府読みし、楽曲の意図するものを理解する。	ウォーミングアップ	
2.	楽曲3を歌唱する。	発声・呼吸法	
3.	楽曲3をグループにわけ合唱する。	発声・呼吸法・譜読み	
4.	楽曲3をグループで発表する。	発声・呼吸法・譜読み	
5.	楽曲3を聞きあい、歌唱表現とはなにか？を考察する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6.	楽曲4を府読みし、楽曲の意図するものを理解する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7.	楽曲4を歌唱する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8.	楽曲4をグループにわけ合唱する。	発声・呼吸法・譜読み	
9.	楽曲4をグループで発表する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
10.	楽曲4を聞きあい、歌唱表現とはなにか？を考察する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
11.	楽曲3、4をステージで発表する。	感情・歌・動きを整理する	
12.	音楽基礎を総合的に振り返る。		
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (30%) 授業内課題 (70%)		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科目	身体表現研究E-I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	殺陣とアクションの基礎を学び、表現者としての幅を広げると共に、自身の肉体の特性を知る。		
到達目標	自分の肉体の特性を知り、コントロールすることが出来る。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	体幹トレーニング・柔軟体操	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
2.	帯の結び方・剣の持ち方・素振り	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
3.	素振り・体さばき	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
4.	素振り・体さばき・型1	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
5.	素振り・体さばき・型2	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
6.	手合わせ1(相手との距離感)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
7.	手合わせ2(間合い)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
8.	手合わせ3(魅せ方)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
9.	手合わせ4(リアリズム)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
10.	シーン練習1(真とかかり)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
11.	シーン練習2(総合練習)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
12.	各チームシーン発表	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(50%) 授業内課題(50%)		
特記すべき 事項	殺陣師、瀧美博氏に師事。 2017年まで東京に於いて様々な舞台に出演、アクションコーディネートを行う。		
質問・相談 の受付	随時可。		

科目	身体表現研究E-II	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	殺陣とアクションの基礎を学び、表現者としての幅を広げると共に、自身の肉体の特性を知る。		
到達目標	自分の肉体の特性を知り、コントロールすることが出来る。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ボディアクション1 キックとパンチの打ち方	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
2.	ボディアクション2 空手・型	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
3.	ボディアクション3 組み手A	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
4.	ボディアクション4 組み手B	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
5.	ボディアクション5 組み手C	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
6.	体操基礎1 マット運動	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
7.	体操基礎2 受身・側転	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
8.	体操基礎3 転回・飛び込み前転・バック転	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
9.	体操基礎4 ロンダート・緊ぎ技	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
10.	シーン練習1(手付け・総合練習)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
11.	シーン練習2(手付け・総合練習)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
12.	各チームシーン発表	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(50%) 授業内課題(50%)		
特記すべき 事項	殺陣師、遅美博氏に師事。 2017年まで東京に於いて様々な舞台に出演、アクションコーディネートをを行う。		
質問・相談 の受付	随時可。		

科目	音声表現研究A-III	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現にとどまらず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から総合的に評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	授業概要の確認	(予習・復習各30分)	
2.	外郎売の復習	外郎売の確認をしておく (予習・復習各30分)	
3.	MC、会話の広げ方①	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
4.	MC、会話の広げ方②	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
5.	ナレーション実践①	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
6.	ナレーション実践②	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
7.	ラジオ番組制作①	企画を考える (予習・復習各30分)	
8.	ラジオ番組制作②	企画を考える (予習・復習各30分)	
9.	ラジオ番組制作③	企画を考える (予習・復習各30分)	
10.	ラジオ番組制作④	企画を考える (予習・復習各30分)	
11.	初見力を鍛える①	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
12.	初見力を鍛える②	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
13.			
14.			
15.			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			



科目	音声表現研究A-IV	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現にとどまらず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から総合的に評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	物語を紡ぐ①	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
2.	物語を紡ぐ②	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
3.	ビブリアバトル①	プレゼン本選定 (予習・復習各30分)	
4.	ビブリアバトル②	プレゼン原稿準備 (予習・復習各30分)	
5.	ビブリアバトル③	プレゼン原稿準備 (予習・復習各30分)	
6.	ラジオ番組制作⑤	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
7.	ラジオ番組制作⑥	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
8.	ラジオ番組制作⑦	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
9.	ラジオ番組制作⑧	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
10.	ラジオ番組制作⑨	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
11.	ラジオ番組制作⑩	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
12.	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
13.			
14.			
15.			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科目	音声表現研究B-III	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ スタジオ内でのマイクワークを学ぶ		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立 スタジオ内でのマナーや用語を知ることにより作品をより深く理解していく マイクワークを習得し収録作業を円滑に行う		
学習成果の 評価基準	授業内で声優の役割を理解し実技実践していく中で、状況に合わせた芝居ができていないかを作品発表にて評価する (①キャラクターの心情を理解・表現できているのか ②スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができているか) 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要の確認 目標・進路を設定する 一年次の復習		
2.	言葉へのアプローチ	配付プリントを読んでおく	
3.	セリフ 声のみの表現(第一段階)	配布プリントを読んでおく	
4.	セリフ 声のみの表現(第二段階)	台本を読んでおく	
5.	アニメアフレコ(1) クオリティの高いセリフ	台本を読んでおく	
6.	アニメアフレコ(2) 綿密なキャラクター作り(第一段階)	台本を読んでおく	
7.	アニメアフレコ(3) 作品発表 綿密なキャラクター作り(第二段階)	台本を読んでおく	
8.	アニメアフレコ(4) 的確な映像解析	台本を読んでおく	
9.	アニメアフレコ(5) 生きた芝居(第一段階)	台本を読んでおく	
10.	アニメアフレコ(6) 作品発表 生きた芝居(第二段階)	台本を読んでおく	
11.	アニメアフレコ(7) 作品発表 短時間で作品を仕上げる1-1	台本を読んでおく	
12.	アニメアフレコ(8) 作品発表 短時間で作品を仕上げる1-2	台本を読んでおく	
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(40%) その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として27年の実務経験を有しています		
質問・相談 の受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科目	音声表現研究B-IV	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ スタジオ内でのマイクワークを学ぶ 外画素材を使いアテレコのスキルを身につける		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立 スタジオ内でのマナーや用語を知ることにより作品をより深く理解していく マイクワークを習得し収録作業を円滑に行う 外画アテレコの習得		
学習成果の 評価基準	授業内で声優の役割を理解し実技実践していく中で、状況に合わせた芝居ができていくかを作品発表にて評価する (①キャラクターの心情を理解・表現できているのか ②スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができているか) 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	アテレコについて学ぶ アニメと外画の収録の違いを学ぶ	配付プリントを読んでおく	
2.	外画アテレコ1-1 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
3.	外画アテレコ1-2 作品発表 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
4.	外画アテレコ2-1 台本と映像の関係を理解する (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
5.	外画アテレコ2-2 作品発表 台本と映像の関係を理解する (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
6.	外画アテレコ3-1 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
7.	外画アテレコ3-2 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
8.	外画アテレコ3-3 作品発表 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第三段階)	台本を読み映像を見ておく	
9.	外画アテレコ4-1 クオリティの高いセリフ (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
10.	外画アテレコ4-2 作品発表 クオリティの高いセリフ (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
11.	外画アテレコ4-3 クオリティの高いセリフ (第三段階)	台本を読み映像を見ておく	
12.	外画アテレコ4-4 作品発表 クオリティの高いセリフ (第四段階)	台本を読み映像を見ておく	
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(40%) その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として27年の実務経験を有しています		
質問・相談 の受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科 目	ミュージカル研究Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 (1)譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 (2)楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 (3)身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	楽曲1を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
2.	楽曲1を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
3.	楽曲1を歌い込む	録音し、反復練習	
4.	楽曲1を歌い込む	録音し、反復練習	
5.	楽曲1に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
6.	楽曲1に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
7.	楽曲1を発表(課題)する	客観的に振り返る	
8.	楽曲2を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9.	楽曲2を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
10.	楽曲2歌い込む	録音し、反復練習	
11.	楽曲2にステージングと台詞を入れて表現する	録音し、反復練習	
12.	楽曲2を(課題)発表する	客観的に振り返る	
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布する		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科 目	ミュージカル研究Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 (1)譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 (2)楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 (3)身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	楽曲3を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
2.	楽曲3を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
3.	楽曲3を歌い込む	録音し、反復練習	
4.	楽曲3を歌い込む	録音し、反復練習	
5.	楽曲3に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
6.	楽曲3に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
7.	楽曲3を発表(課題)する	客観的に振り返る	
8.	楽曲4を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9.	楽曲4を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
10.	楽曲4歌い込む	録音し、反復練習	
11.	楽曲4にステージングと台詞を入れて表現する	録音し、反復練習	
12.	楽曲4を(課題)発表する	客観的に振り返る	
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布する		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科目	舞台技術 I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基本を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	舞台芸術を創作する上での、劇場スタッフに必要な知識と技術を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	舞台監督の仕事の復習(1年生の復習)	予習: 1年生を振り返る(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
2.	綱元操作の復習(舞台機構の再確認)	予習: 舞台機構を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
3.	さまざまな舞台演目について学ぶ(演劇・ミュージカル・コンサート・パフォーマンス)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
4.	さまざまな舞台美術について学ぶ(演劇・ミュージカル・コンサート・パフォーマンス)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
5.	舞台備品の仕込み(舞台幕 黒紗幕)	予習: 劇場備品を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
6.	舞台備品の仕込み(特殊効果 雪布)	予習: 劇場備品を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
7.	舞台監督の仕事(舞台演出家)	予習: 演出家を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
8.	舞台監督の仕事(舞台美術家)	予習: 美術家を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
9.	舞台監督の仕事(大道具スタッフ)	予習: 大道具を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
10.	舞台監督の仕事(演劇)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
11.	舞台監督の仕事(ミュージカル)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
12.	舞台監督の仕事(コンサート)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
13.	舞台監督の仕事(海外の舞台演目①)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
14.	舞台監督の仕事(海外の舞台演目②)	予習: 舞台演目を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
15.	まとめ (前期の復習・振り返りと点検)	予習: 前期を振り返る(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	舞台技術Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	前期で学んだことを基に、舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基礎を学ぶ。		
到達目標	舞台芸術創造の統括をする舞台監督の仕事を学ぶことにより、創造に必要な知識と技術を学ぶ		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	前期の復習（前期で学んだ事の再確認）	予習：前期を振り返る（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
2.	舞台機構の操作の復習（舞台綱元の確認）	予習：舞台機構を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
3.	舞台監督の仕事（劇場との打合せ）	予習：劇場の事を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
4.	舞台監督の仕事（舞台の搬入・搬出等）	予習：搬入搬出を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
5.	舞台監督の仕事（搬入前の事前準備）	予習：事前準備を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
6.	舞台監督の仕事（仕込みの進め方① 安全確認・注意事項）	予習：仕込みを調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
7.	舞台監督の仕事（仕込みの進め方② 手順確認・他のスタッフとの連携）	予習：仕込みを調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
8.	舞台監督の仕事（出演者への舞台説明・暗転の確認・出演者動線など）	予習：舞台説明を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
9.	舞台監督の仕事（舞台転換時の注意点・暗転時の注意点）	予習：舞台転換を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
10.	舞台監督の仕事（スケジュールについて）	予習：舞台進行を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
11.	舞台監督の仕事（場当たり・抜き稽古）	予習：舞台進行を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
12.	舞台監督の仕事（通し稽古の進め方）	予習：舞台進行を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
13.	舞台監督の仕事（ゲネプロの進め方）	予習：舞台進行を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
14.	舞台監督の仕事（本番の進行の仕方）	予習：舞台進行を調べる（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
15.	まとめ（後期の復習・振り返りと点検）	予習：後期を振り返り（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	音響技術 I	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響のデジタル化に伴いデジタルミキサーやデジタル機器を使用し理解し、学校での公演、その他での本番の使用技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	学校での公演、その他での本番の使用を目指す。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
学習成果の評価基準	到達度確認テストを実施し評価する		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	アナログミキサーについて	予習30分：アナログミキサーの仕様について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
2.	デジタルミキサーについて①	予習30分：小劇場のデジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
3.	デジタルミキサーについて②	予習30分：その他のデジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
4.	デジタルミキサーについて③	予習30分：その他のデジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
5.	音源再生について	予習30分：CD、MDデッキについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
6.	パソコンからの音出し①	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
7.	パソコンからの音出し②	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
8.	パソコンからの音出し③	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
9.	パソコンからの音出し④	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
10.	パソコンを使用しての録音方法について①	予習30分：録音波形編集ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
11.	パソコンを使用しての録音方法について②	予習30分：録音波形編集ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
12.	パソコンを使用しての録音方法について③	予習30分：録音波形編集ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
13.	レコーディング①	予習30分：オーディオインターフェースについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
14.	レコーディング②	予習30分：オーディオインターフェースについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
15.	まとめ	予習30分：これまでのの内容を振り返る 復習30分：本科目を振り返る	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【到達度テスト】 (30%)		
特記すべき事項	この科目の単位が取得できなければ、後期「音響技術Ⅱ」は履修できない 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			



科目	音響技術Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響ミキサーの使い方、音響仕込み図の見方を理解し実践に備える事を目的とし音響オペレーターの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	卒業公演等にてのオペレーターを行えるレベルへの到達を目標とする。		
学習成果の評価基準	実際に音響マイクオペレーターを行い到達度確認テストを実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	波形編集①	予習30分：波形編集ソフトの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
2.	波形編集②	予習30分：波形編集ソフトの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
3.	PA実技①	予習30分：音響セッティングの段取りをする 復習30分：前回の内容を振り返る	
4.	PA実技②	予習30分：音響セッティングの段取りをする 音出しまで 復習30分：前回の内容を振り返る	
5.	PA実技③	予習30分：音響セッティングの段取りをする 音出しまで 復習30分：前回の内容を振り返る	
6.	デジタルミキサーのパッチ方法	予習30分：ミキサーの操作を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
7.	デジタルミキサーのシーンの活用	予習30分：ミキサーのシーンの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
8.	内部エフェクターの使用法	予習30分：エフェクターの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
9.	EQでの調整方法	予習30分：EQの調整方法を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
10.	デジタルミキサーのまとめ	予習30分：現場におけるミキサーの使い方について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
11.	公演に向けての音響仕込み図 セッティング①	予習30分：実戦における音響の仕込みについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
12.	公演に向けての音響仕込み図 セッティング②	予習30分：実戦における音響の仕込みについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
13.	公演に向けての音響仕込み図 セッティング③	予習30分：実戦における音響の仕込みについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
14.	仕込み図を見て実際に配線をしての実技①	予習30分：音響の仕込み図を書いてみる 復習30分：前回の内容を振り返る	
15.	まとめ	予習30分：これまでの内容を振り返る 復習30分：本科目を振り返る	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【到達度テスト】 (30%)		
特記すべき事項	前期「音響技術Ⅰ」履修者のみ受講可 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	照明技術 I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	基礎の復習。舞台照明に関する作業の実践。		
到達目標	舞台照明における作業の流れを理解する		
学習成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	基礎復習① 機材の種類、照明演出効果について	予習 (30分) 舞台照明について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
2.	基礎復習② 仕込図、ケーブル、電気の知識、DMX信号について	予習 (30分) 照明仕込図について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
3.	基礎復習③ サスペンションライト吊込み、安全作業について	予習 (30分) 安全作業について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
4.	基礎復習④ チャンネル表、パッチ、点灯チェック	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
5.	基礎復習⑤ フォーカス、高所作業について	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
6.	基礎復習⑥ シーン記憶・再生・修正	予習 (30分) 卓操作の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
7.	基礎復習⑦ 機材メンテナンスについて	予習 (30分) 舞台照明機材メンテナンスについて 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
8.	夏公演～プランニング、キューシート作成	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
9.	夏公演～プランニングの共有	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
10.	夏公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
11.	夏公演～仕込み、パッチ、点灯チェック	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
12.	夏公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
13.	夏公演～明かりづくり（シーン記憶・再生・修正）	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
14.	夏公演～きっかけ合わせ	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
15.	夏公演～ふりかえり	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の受付			

科目	照明技術Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	照明プランニングおよび、仕込みから撤去までの作業実践		
到達目標	作業内容を理解し、操作することができる		
学習成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	前期学習内容のふりかえり、今後の学習について	予習 (30分)	前期での作業内容の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
2.	アンドワン公演～プランニング、キューシート作成	予習 (30分)	台本の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
3.	アンドワン公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習 (30分)	キューシートの確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
4.	アンドワン公演～フォーカス	予習 (30分)	仕込図の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
5.	アンドワン公演～明かりづくり、きっかけ合わせ	予習 (30分)	台本の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
6.	アンドワン公演～まとめ	予習 (30分)	作業全般のふりかえり
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
7.	撤去作業、安全作業、機材メンテナンスについて	予習 (30分)	安全作業について調べる
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
8.	卒業公演～プランニング	予習 (30分)	台本の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
9.	卒業公演～キューシート作成	予習 (30分)	台本の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
10.	卒業公演～仕込図を読み、チャンネル表を作る	予習 (30分)	キューシートの確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
11.	卒業公演～仕込み、パッチ、点灯チェック	予習 (30分)	仕込図の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
12.	卒業公演～フォーカス	予習 (30分)	仕込図の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
13.	卒業公演～明かりづくり（シーン記憶・再生・修正）	予習 (30分)	キューシートの確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
14.	卒業公演～きっかけ合わせ	予習 (30分)	台本の確認
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
15.	卒業公演～ふりかえり	予習 (30分)	作業全般のふりかえり
		復習 (30分)	授業内容ふりかえり
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台機構演習	開講時期 履修方法	2年前集中 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、舞台機構講習に向けての知識、技術の習得を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	舞台機構演習3級に向けての実技 筆記の習得を目的とする。		
学習成果の 評価基準	到達度確認テスト(3級問題集 実技 ヒヤリング問題)を実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その1	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
2.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その2	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
3.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その3	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
4.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その4	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
5.	楽器の音について1	予習30分: テキストを読む 楽器の音を聴く 復習30分: 前回の内容を振り返る	
6.	楽器の音について2	予習30分: テキストを読む 楽器の音を聴く 復習30分: 前回の内容を振り返る	
7.	楽器の音について3	予習30分: テキストを読む 楽器の音を聴く 復習30分: 前回の内容を振り返る	
8.	音響テクニカルについての実技1	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
9.	音響テクニカルについての実技2	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
10.	音響テクニカルについての実技3	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
11.	音響テクニカルについての実技4	予習30分: テキストを読む 復習30分: 前回の内容を振り返る	
12.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技1	予習30分: 音響操作 復習30分: 前回の内容を振り返る	
13.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技2	予習30分: 音響操作 復習30分: 前回の内容を振り返る	
14.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技3	予習30分: 音響操作 復習30分: 前回の内容を振り返る	
15.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技4	予習30分: これまでのの内容を振り返る 復習30分: 本科目を振り返る	
教科書	舞台機構調整技能検定3級試験問題集		
参考書	舞台機構調整技能検定3級試験問題集		
学習成果の 評価方法	受講態度(20%) 小テスト(50%) 授業内課題(30%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科目	シアターコミュニケーション論Ⅰ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開します。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション力を習得できる。また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」において評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	予習: シラバスを見ておく(2時間) 復習: ルーティーンワークを理解	
2.	ワーク「モーニングページ」と心理的効果	予習: 習慣化できる工夫をおこなう(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
3.	コミュニケーション力の段階的発達1 コミュニケーションレベル	予習: 意思疎通の意味について調べる(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
4.	コミュニケーション力の段階的発達2 DVD視聴	予習: 人間関係の特徴を捉える(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
5.	演劇ワーク「教育格言」から生きる言葉を獲得する	予習: 好きな格言を選んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
6.	演劇ワーク「クルーザー物語」から多様な解釈を受容する	予習: 配布資料を読んでおく。 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
7.	演劇ワーク「文学賞審査会」から他者の価値観に触れる	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
8.	グループワークトレーニングにおける考察「謎の宝島」	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
9.	演劇における自己肯定感と自尊感情について	予習: 自信を持てる領域を確かめる(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
10.	KJ法を用いた演劇力の考察と社会適用その1	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
11.	KJ法を用いた演劇力の考察と社会適用その2	予習: グループで得た結論をまとめておく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
12.	言語表現における主張的を立てるその1	予習: 役割の種類をまとめる(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
13.	言語表現における主張的を立てるその2	予習: 文章の組み立てを考えてみる(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
14.	「笑いの大学」から悲喜劇の転換を考える	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
15.	知識と学習のまとめ	予習: これまでの内容を振り返る(2時間) 復習: レポートにまとめる(2時間)	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として29年の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	シアターコミュニケーション論Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開します。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション力を習得できる。また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」において評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	予習: シラバスを見ておく(2時間) 復習: ルーティーンワークを理解	
2.	スピーチにおける「コンテンツとデリバリー」を捉える ノンバーバルコミュニケーションの活用	予習: 原稿を準備する(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
3.	声のベクトルと送受信を体験的に理解する	予習: 声かけの言葉を考える(2時間) 復習: 積極的に応用してみる(2時間)	
4.	声と表情の関係性について考察する	予習: 自分の表情を確認する(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
5.	演劇ワーク「モノがたり」物質の生命ストーリーを味わう	予習: 身近な存在の物に注目する(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
6.	人物観察とステイタスの共通性を捉える	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
7.	「サマータイムマシンブルース」から過去・現在・未来を捉える	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
8.	企画書スキームの日常範囲の役割について考察出来る	予習: 日常の企画についてまとめる(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
9.	演劇的視点に基づいたアウトプットの考察が出来る	予習: 資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
10.	意志力について考察その1「やる力・やらない力・望む力」	予習: 自己の意志力を記しておく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
11.	意志力について考察その2「モラルライセンシング他」	予習: 意志力の特性を理解する(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
12.	子どもの発達段階における演劇について(ゲスト講師)	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
13.	仏教的視座に基づく表現性について(ゲスト講師)	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
14.	心の健康と心理ケアについて(ゲスト講師)	予習: 配布資料を読んでおく(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
15.	知識と学習のまとめ	予習: 今までの学びを挙げる(2時間) 復習: 授業内容を振り返る(2時間)	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書	ケリー・マクゴニカル著「スタンフォードの自分を変える教室」(だいわ文庫)		
学習成果の評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として29年の実務経験を有している。		
質問・相談の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	表現技法A-I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的とします。俳優の道へ進むために何が必要かを考え、稽古を重ねます。また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学習成果の評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	予習:卒業後の進路を考えておく(30分) 復習:一年間の計画を立てる(30分)	
2.	自己PRの検討と目標設定	予習:自己PRの内容を考える(30分) 復習:変更箇所を修正する(30分)	
3.	身体トレーニングと発声練習	予習:健康管理の著書を読む(30分) 復習:ルーティーンを決める(30分)	
4.	緊張と緩和のコントロール	予習:丹田について理解する(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
5.	演劇ワーク「ストーリーづくり」演技編	予習:ストーリーの意味を知る(30分) 復習:自主的に試みる(30分)	
6.	演劇ワーク「演技連鎖」場面描写編	予習:ウォーミングアップの準備(30分) 復習:苦手な動きの確認をする(30分)	
7.	エチュード「状況・出来事・結果」展開編	予習:事前に作らずリラックスする(30分) 復習:課題の原因を明確にする(30分)	
8.	ドラマ解説その1「葛藤と対立の正体」揺さぶり編	予習:配布テキストを読む(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
9.	ドラマ解説その2「影響を受ける受けない」相互関係編	予習:三原則を再確認する(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
10.	ドラマ解説その3「フィクションのリアル」突き抜け編	予習:フィクションの意味を知る(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
11.	エチュード「状況変化」迅速対応編	予習:予想外の事を抽出する(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
12.	感情表現「愉快・喜び」パーティー場面	予習:気分の変化を記録する(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
13.	感情表現「怒り・悲しみ」闘争場面	予習:声と体のウォーミングアップ(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
14.	感情表現「愛しさ・尊さ」カタルシス場面	予習:カタルシスの意味に触れる(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
15.	知識と学習のまとめ/小発表	予習:半期を振り返りまとめる(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
教科書	台本・台詞原稿を配布する。		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度50%、授業内成果発表50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として29年の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	表現技法A-II	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的とします。 俳優の道を進むために何が必要かを考え稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学習成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	イントロダクション/ 自己PRの点検と目標の見直し設定をおこなう	予習:卒業後の進路について進捗をまとめる(30分) 復習:半年間の計画を見直す(30分)	
2.	身体トレーニングと発声練習	予習:必要なレッスンの把握(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
3.	マイム「合格発表」	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
4.	マイム「再会」	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
5.	マイム「勘違い」	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
6.	シーンスタディー1「ふたりの場面」聞いて反応する	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
7.	シーンスタディー2「3人の場面」聞いて反応する	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
8.	シーンスタディー3「静かな場面」目的の設定をおこなう	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
9.	シーンスタディー4「激しい場面」葛藤を持つ	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
10.	シーンスタディー5「感動的な場面」心の状態を見る	予習:参考資料に目を通す(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
11.	短編戯曲を読む、読み合わせする	予習:台本をつくる(30分) 復習:セリフを覚える(30分)	
12.	芝居をつくる、話し合う	予習:セリフを確かめる(30分) 復習:ひとつアイデアを足す(30分)	
13.	衣装・小道具を準備し、リハーサルをおこなう	予習:衣装・小道具を手配する(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
14.	小劇場で上演する	予習:セリフと動きの確認をする(30分) 復習:映像を確認する(30分)	
15.	知識と学習のまとめ/輪組み	予習:これまでの振り返り(30分) 復習:授業内容を振り返る(30分)	
教科書	台本・台詞原稿を配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度50%、授業内成果発表50%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として29年の実務経験を有している。		
質問・相談の 受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		



科目	表現技法B-I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路（声優）に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	自己PR作成①	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各30分)	
2.	自己PR作成②	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各30分)	
3.	自己PR作成③	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各30分)	
4.	自己PR作成④	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各30分)	
5.	模擬面接①	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各30分)	
6.	模擬面接②	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各30分)	
7.	ナレーション課題①	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
8.	ナレーション課題②	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
9.	ナレーション課題③	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
10.	ナレーション課題④	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
11.	台詞課題①	プランを考慮しておく (予習・復習各30分)	
12.	台詞課題②	プランを考慮しておく (予習・復習各30分)	
13.	台詞課題③	プランを考慮しておく (予習・復習各30分)	
14.	台詞課題④	プランを考慮しておく (予習・復習各30分)	
15.	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科目	表現技法B-II	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路(声優)に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合的に評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ボイスサンプル研究①	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
2.	ボイスサンプル研究②	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
3.	ボイスサンプル研究③	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
4.	ボイスサンプル研究④	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
5.	ボイスサンプル研究⑤	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
6.	ボイスサンプル研究⑥	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
7.	ボイスサンプル研究⑦	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
8.	ボイスサンプル研究⑧	9マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
9.	ボイスサンプル作成①	9マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
10.	ボイスサンプル作成②	9マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
11.	ボイスサンプル作成③	9マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
12.	ボイスサンプル作成④	9マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
13.	ボイスサンプル作成⑤	9マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
14.	ボイスサンプル作成⑥	9マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
15.	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科目	表現技法C-I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品をを通して戯曲と楽曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。		
到達目標	自らの身体の特性を知り、その個性を生かしながらミュージカル歌曲を歌い、踊り、自由に演じることが出来る。		
学習成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う (1)音楽のイメージを自由に表現出来る (2)音楽を感じ肉体表現在出来る (3)感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自分の声質を知る。	発声練習。(予習30分・復習30分)	
2.	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
3.	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を覚える。(予習30分・復習30分)	
4.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その1。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
5.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その2。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
6.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その3。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
7.	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
8.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その1。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
9.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その2。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
10.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その3。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
11.	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
12.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その1。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
13.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その2。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
14.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その3。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
15.	まとめ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	授業内発表70% 受講態度30%		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	授業中、また常時受け付ける。		

科目	表現技法C-II	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から楽曲と戯曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。		
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊り、自由に演じる事が出来る。		
学習成果の 評価基準	一人ずつ、またはグループで発表を行う (1)音楽のイメージを自由に表現出来る (2)音楽を感じ肉体的表現が出来る (3)感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自分の身体、声質を知る。	発声練習。(予習30分・復習30分)	
2.	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
3.	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を覚える。(予習30分・復習30分)	
4.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
5.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
6.	ソロのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
7.	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
8.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
9.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
10.	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
11.	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
12.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
13.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
14.	アンサンブルのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
15.	まとめ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	授業内発表70% 受講態度30%		
特記すべき 事項	1987年~2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
費用・相談 の受付	常時受け付ける。		

科 目	表現技法D-I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	講義内容の説明・オリエンテーション	予習：シラバスを読む(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2.	自己表現の基礎①(自己分析・プロフィールの研究)	予習：自己表現を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3.	自己表現の基礎②(自己分析・進路について考える)	予習：自己表現を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4.	職種の知識習得(職種内容の選定)	予習：職種内容を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5.	コミュニケーション能力を高める方法①(社会とのつながり・自己紹介や挨拶 基礎編)	予習：自己紹介を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6.	コミュニケーション能力を高める方法②(社会とのつながり・自己紹介や挨拶 応用編)	予習：自己紹介を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7.	舞台模型(小劇場)を作成して自己表現をする。	予習：舞台模型を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8.	一般常識の研究①	予習：一般常識を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9.	履歴書について①(履歴書作成①)	予習：履歴書を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10.	社会の仕組み①(仕事への姿勢・挨拶の仕方や連絡手段について)	予習：社会の事を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11.	社会の仕組み②(事前準備、日程確認、時間厳守の重要性)	予習：社会の事を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12.	スマートフォンのアプリケーションについて①(便利なアプリケーション)	予習：アプリを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13.	パソコンについて①(オフィス関係・ワード、エクセル)	予習：オフィスを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14.	パソコンについて②(図面作成ソフト・Vector Works)	予習：図面作成を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15.	前期のまとめ	予習：前期を振り返る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート提出30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	表現技法D-II	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	前期の復習	復習: 前期を振り返る(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
2.	円滑に仕事を進める方法①(事前準備の重要性)	復習: 事前準備を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
3.	円滑に仕事を進める方法②(体調管理等)	復習: 体調管理を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
4.	社会の仕組み③(仕事への取り組み方・信頼を得るための準備)	復習: 社会の事を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
5.	パネルディスカッション(相互理解)	復習: 相互理解を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
6.	舞台模型(講堂)を作成して自己表現をする。	予習: 舞台模型を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
7.	一般常識の研究②(一般常識を研究しておく)	復習: 一般常識を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
8.	履歴書について②(履歴書作成②)	復習: 履歴書を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
9.	スピーチ①(自己紹介を考える)	復習: 自己紹介を考える(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
10.	スピーチ②(自己紹介の実践)	復習: 自己紹介を考える(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
11.	コミュニケーション能力を高める方法③(前期からの復習・社会とのつながり)	予習: 自己紹介を考える(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
12.	スマートフォンのアプリケーション②(便利なアプリケーション)	予習: アプリを調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
13.	パソコンについて③(オフィス関係・ワード、エクセル)	予習: オフィスを調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
14.	パソコンについて④(図面作成ソフト・Vector Works)	予習: 図面作成を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
15.	後期のまとめ	予習: 後期を振り返り(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート提出30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	音声表現法 I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	川添幸一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	俳優・声優は才能ある一握りの人財がさらに努力して成功を目指す世界。役柄のオーディションで求められなければベテランや実力者でもバイト漬けの日々を数年耐え続けるのが現実。故に俳優・声優を目指す者は、収入の別柱となり得る「ナレーション技術」を有する必要がある。必須の正確な発音・滑舌・読解力をはじめ、「7つのポイント」アーティキュレーション、アクセント、イントネーション、フレージング、プロミネンス、ポーズ、リズムなど、音声表現の全てを網羅し、求められる音声表現者になるための基礎技術を学ぶ。ナレーター歴30年という放送業界での長い活動歴を持つナレーター事務所代表が「求められる音声表現」習得へ導く。演劇・アフレコだけでなく、タレント性が高い生徒には別途アドバイスし、新たな可能性を提示する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音声表現者に必要な知識・技術を学び、表現者としての技能を生かし、ナレーター、声優、TVレポーター、タレント、ラジオパーソナリティー等、メディアで求められ活躍できる音声表現を身につける。</li> <li>●就職面接など社会人に必須の丁寧な大人の話し方が身につく。</li> <li>●社会人としてのコミュニケーション能力向上。</li> </ul>		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音声表現力の習得レベルを測るため、到達度確認の録音テストを3回以上実施し評価する。</li> <li>●実践（録音）での実力がナレーションでは一番の評価となる。</li> <li>●放送業界への適正を含むあらゆる可能性。</li> </ul>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	講師紹介。ナレーションと台詞読み（アフレコ・舞台）の違い指導。 生徒ナレーション参考録音①（各自レベル・課題把握のため）	予習30分：軽く発声。原稿をに読解し録音に備える。復習30分：原稿復習	
2.	生徒ナレーション参考録音①	予習30分：軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
3.	録音①結果から～全員録音後試聴・講評。各自課題解決への取り組み指導	予習30分：軽く発声。復習30分：自分の弱点・課題克服	
4.	日本語アクセント・無声化・鼻濁音・長音 指導～アクセント辞典①	予習30分：軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
5.	日本語アクセント・無声化・鼻濁音・長音 指導～アクセント辞典②	予習30分：軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
6.	正確な発音・滑舌の習得法指導①	予習30分：軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
7.	正確な発音・滑舌の習得法指導②	予習30分：軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
8.	【「はぁ？」っていうゲーム】を使ったイントネーション指導①	予習30分：心を開放し、想像力を働かせ。軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
9.	【「はぁ？」っていうゲーム】を使ったイントネーション指導②	予習30分：心を開放し、想像力を働かせ。軽く発声。復習30分：講師指導を元に練習。	
10.	生徒ナレーション録音②	予習30分：軽く発声。指摘された課題を練習。復習30分：講師指導を元に練習。	
11.	録音②結果から各自課題解決への取り組み指導	予習30分：軽く発声。指摘された課題を練習。復習30分：講師指導を元に練習。	
12.	短編ナレーション録音指導A1	予習30分：軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分：講師指導を元に練習。	
13.	短編ナレーション録音指導A2	予習30分：軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分：講師指導を元に練習。	
14.	短編ナレーション録音A1.2～試聴・講評	予習30分：軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分：講師指導を元に練習。	
15.	短編ナレーション録音～試聴・講評。前期振り返り・総括	予習30分：軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分：講師指導を元に練習。	
教科書	なし。都度、テキスト資料や原稿配布		
参考書	「NHK日本語発音アクセント新辞典」※受講者は毎回必ず持参すること。※スマホ（アプリ）使用不可		
学習成果の評価方法	受講態度（20%）、録音テスト（40%）、到達度確認録音テスト（40%）を実施後、次回講義で指導します。		
特記すべき事項	＜講師経歴＞ラジオパーソナリティー歴24年、モデル歴18年、ナレーター歴30年、司会者歴32年。ナレーター事務所【ECHO-S】代表・現役ナレーター、ECHO-S主宰【福岡ECHO-Sフロンティア】校長。		
質問・相談等の受付	学生の個別相談（上述方法、適正、進路など）も受付ける。＊希望生徒が学校側に申請し、講師の許諾があれば空き教室など使用し指導。要望が集まればゼミ開講も検討可。		

科目	音声表現法Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	倉富顕子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では社会の中で人とのコミュニケーションに欠かせない「言葉の選び方・使い方・喋り方」や「他者の言葉を聞く力」を磨き、表現力を身につける技法を学ぶ		
到達目標	*表現者として自らの課題を発見し、様々なアプローチで課題に取り組む事ができる *日常生活においても他者の思いを受けとめ自身の感情や思考を伝える事が出来る		
学習成果の 評価基準	授業内での課題への積極的な取り組み(課題発表)や他者の発表を聴く姿勢を「受講態度」の評価とする		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自己紹介、基礎発声練習	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
2.	発声、発音、滑舌の練習	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
3.	短い文章・原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
4.	前回の「文章・原稿読む」で課題となった事に再度チャレンジし、クリア出来たかをチェックする。	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
5.	物語の一部を読む	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
6.	前回の「物語の一部を読む」で課題となった事に再度チャレンジし、クリア出来たかをチェックする。	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
7.	クラスの学生同士でインタビューを行う	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
8.	ニュース原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
9.	前回の「ニュース原稿を読む」で課題となった事に再度チャレンジし、修正できたかをチェックする	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
10.	愛読書や感銘を受けた書物、映画を紹介する	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
11.	心に残る音楽、楽曲、好きなアーティストを紹介する	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
12.	コマーシャル原稿やナレーション原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
13.	前回の「コマーシャル原稿やナレーション原稿を読む」で課題になった事に再度チャレンジし修正できたか確認、チェックする。	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
14.	物語やエッセイの長文読みにチャレンジする	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
15.	これまでの学習成果を確認するため、初見の原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(50%) 到達度を確認する為、期末のナレーションや原稿読みの発表成果(50%)		
特記すべき 事項	ラジオリポーター、パーソナリティとして15年、その後フリーアナウンサーとして現在まで26年の実務経験を有する		
質問・相談等 の受付	毎回の授業後、時間(次の授業開始時間、等々)に支障なければ学生からの質問・相談を受ける		



科目	舞台演習発展Ⅰ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	戯曲の本読み①	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
2.	戯曲の本読み②	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
3.	戯曲の本読み③	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
4.	戯曲の本読み④	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
5.	戯曲の本読み⑤	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
6.	戯曲の本読み⑥	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
7.	戯曲の本読み⑦	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
8.	戯曲の本読み⑧	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
9.	戯曲の本読み⑨	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
10.	戯曲の本読み⑩	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
11.	芝居稽古①	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
12.	芝居稽古②	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
13.	芝居稽古③	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
14.	芝居稽古④	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
15.	芝居稽古⑤	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台演習発展 I	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	芝居稽古⑥	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
17.	芝居稽古⑦	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
18.	芝居稽古⑧	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
19.	芝居稽古⑨	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
20.	芝居稽古⑩	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
21.	芝居稽古⑪	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
22.	芝居稽古⑫	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
23.	芝居稽古⑬	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
24.	芝居稽古⑭	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
25.	芝居稽古⑮	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
26.	芝居稽古⑯	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
27.	芝居稽古⑰	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
28.	芝居稽古⑱	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
29.	芝居稽古⑲	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
30.	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談 の受付			

科 目	舞台演習発展Ⅱ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年夏公演に向けて、演技表現の稽古を積み重ね、自己表現力を高める。		
到達目標	言葉を生み出す身体を土台にして、身体表現と音声表現の質を高めることを目標とする。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	テーブル稽古①	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
2.	テーブル稽古②	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
3.	テーブル稽古③	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
4.	テーブル稽古④	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
5.	テーブル稽古⑤	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
6.	テーブル稽古⑥	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
7.	テーブル稽古⑦	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
8.	テーブル稽古⑧	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
9.	立ち稽古①	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
10.	立ち稽古②	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
11.	立ち稽古③	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
12.	立ち稽古④	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
13.	立ち稽古⑤	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
14.	立ち稽古⑥	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
15.	立ち稽古⑦	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談 の受付			

科目	舞台演習発展Ⅱ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演に向けて、演技表現の稽古を積み重ね、自己表現力を高める		
到達目標	言葉を生み出す身体を土台にして、身体表現と音声表現の質を高めることを目標とする。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	抜き稽古・小返し①	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
17.	抜き稽古・小返し②	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
18.	抜き稽古・小返し③	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
19.	抜き稽古・小返し④	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
20.	抜き稽古・小返し⑤	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
21.	抜き稽古・小返し⑥	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
22.	抜き稽古・小返し⑦	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
23.	抜き稽古・小返し⑧	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
24.	抜き稽古・小返し⑨	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
25.	抜き稽古・小返し⑩	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
26.	抜き稽古・小返し⑪	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
27.	抜き稽古・小返し⑫	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
28.	抜き稽古・小返し⑬	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
29.	抜き稽古・小返し⑭	発声・ストレッチ ミザンス確認 (予習・復習各30分)	
30.	まとめ	(予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台演習発展Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。		
到達目標	身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	小道具作成①	プランチェック (予習・復習各30分)	
2.	小道具作成②	プランチェック (予習・復習各30分)	
3.	小道具作成③	プランチェック (予習・復習各30分)	
4.	大道具作成①	美術プラン確認 (予習・復習各30分)	
5.	大道具作成②	美術プラン確認 (予習・復習各30分)	
6.	大道具作成③	美術プラン確認 (予習・復習各30分)	
7.	広報宣伝①	ツール確認 (予習・復習各30分)	
8.	広報宣伝②	ツール確認 (予習・復習各30分)	
9.	広報宣伝③	ツール確認 (予習・復習各30分)	
10.	衣装製作①	衣装プラン確認 (予習・復習各30分)	
11.	衣装製作②	衣装プラン確認 (予習・復習各30分)	
12.	衣装製作③	衣装プラン確認 (予習・復習各30分)	
13.	劇場での仕込み①	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
14.	劇場での仕込み②	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
15.	劇場での仕込み③	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本・キューシート		
参考書	美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台演習発展Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。		
到達目標	身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学習成果の評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	劇場での仕込み④	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
17.	明かり合わせ①	照明プラン確認 (予習・復習各30分)	
18.	明かり合わせ②	照明プラン確認 (予習・復習各30分)	
19.	明かり合わせ③	照明プラン確認 (予習・復習各30分)	
20.	音合わせ①	音響プラン確認 (予習・復習各30分)	
21.	音合わせ②	音響プラン確認 (予習・復習各30分)	
22.	音合わせ③	音響プラン確認 (予習・復習各30分)	
23.	通し稽古①	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
24.	通し稽古②	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
25.	通し稽古③	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
26.	通し稽古④	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
27.	通し稽古⑤	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
28.	通し稽古⑥	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
29.	通し稽古⑦	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
30.	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本・キューシート		
参考書	美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン		
学習成果の評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等の受付			

科 目	舞台総合 I	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて、集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。 (2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。 (4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習30分・復習30分)	
2.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習30分・復習30分)	
3.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習30分・復習30分)	
4.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習30分・復習30分)	
5.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習30分・復習30分)	
6.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習30分・復習30分)	
7.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
8.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
9.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
10.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
11.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
12.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
13.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
14.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
15.	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談 の 受 付	随時可。		

科目	舞台総合 I	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。 (2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。 (4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
17.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
18.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
19.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
20.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
21.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
22.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
23.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
24.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
25.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
26.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
27.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
28.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
29.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
30.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(50%) 公演目標達成度(50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可。		



科目	舞台総合Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。 (2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。 (4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	テーブル稽古	下読み・時代背景を調べる(予習30分・復習30分)	
2.	テーブル稽古	下読み・役の人物の履歴書を書く(予習30分・復習30分)	
3.	テーブル稽古	役作り・相手役の関係性を考える(予習30分・復習30分)	
4.	テーブル稽古	役作り・脚本上の役割を考える(予習30分・復習30分)	
5.	テーブル稽古	役作り・感情を作る(予習30分・復習30分)	
6.	立ち稽古	ミザンス確認・体の中心軸を意識(予習30分・復習30分)	
7.	立ち稽古	ミザンス確認・相手との距離感を掴む(予習30分・復習30分)	
8.	立ち稽古	ミザンス確認・感情と声のバランスを考える(予習30分・復習30分)	
9.	立ち稽古	ミザンス確認・感情と声のバランスを考える(予習30分・復習30分)	
10.	立ち稽古	ミザンス確認・舞台の所作を研究する(予習30分・復習30分)	
11.	立ち稽古	ミザンス確認・舞台の所作を研究する(予習30分・復習30分)	
12.	立ち稽古	ミザンス確認・感情と形式と肉体の関係性をノートする(予習30分・復習30分)	
13.	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える(予習30分・復習30分)	
14.	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える(予習30分・復習30分)	
15.	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%) 公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	舞台総合Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。 (2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。 (4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する（予習30分・復習30分）	
17.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する（予習30分・復習30分）	
18.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する（予習30分・復習30分）	
19.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する（予習30分・復習30分）	
20.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する（予習30分・復習30分）	
21.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する（予習30分・復習30分）	
22.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
23.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
24.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
25.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
26.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
27.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
28.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
29.	小返し	ノート確認・修正（予習30分・復習30分）	
30.	まとめ	振り返り（予習30分・復習30分）	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度（50%）公演目標達成度（50%）		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	舞台総合Ⅲ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。 (2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。 (4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
2.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
3.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
4.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
5.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
6.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
7.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
8.	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
9.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
10.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
11.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
12.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
13.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
14.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
15.	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	舞台総合Ⅲ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。 (2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。 (4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
17.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
18.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
19.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
20.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
21.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
22.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
23.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
24.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
25.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
26.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
27.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
28.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
29.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
30.	まとめ	振り返り(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%) 公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談の受付	随時可。		

科目	舞台総合Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演劇・ミュージカルの作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、振付・作曲・照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台創作における表現者の総合的な学びです。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	二年間の集大成である卒業公演を通して自主性と協調性を兼ね備えた豊かなコミュニケーション能力の獲得を目標とする。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価する。 (1)計画を立て安全に作業を行うことができる。 (2)仲間とコミュニケーションを取り段取り良く作業を進めることができる。 (3)準備、確認を怠らず与えられた仕事を遂行出来る。 (4)時間を厳守し、仲間への感謝を述べる事が出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	舞台仕込み(1) 大道具搬入・リノリウム	仕込み図を見ておく(予習30分・復習30分)	
2.	舞台仕込み(2) セット仕込み・吊りモノ仕込み	安全確認(予習30分・復習30分)	
3.	舞台仕込み(3) 安全確認	安全確認(予習30分・復習30分)	
4.	照明仕込み	仕込み図を確認する(予習30分・復習30分)	
5.	照明シュート・明かり作り(1)	仕込み図を確認する(予習30分・復習30分)	
6.	照明シュート・明かり作り(2)	仕込み図を確認する(予習30分・復習30分)	
7.	照明合わせ(1)	キューシートを見ておく(予習30分・復習30分)	
8.	照明合わせ(2)	キューシートを見ておく(予習30分・復習30分)	
9.	音響仕込み	仕込み図を見ておく(予習30分・復習30分)	
10.	音響チェック(1) SE/MEチェック ワイヤレスマイクチェック	キューシートを見ておく(予習30分・復習30分)	
11.	音響チェック(2) バンド・サウンドチェック	キューシートを見ておく(予習30分・復習30分)	
12.	場当たり(1) 立ち位置の確認・きっかけの確認	台本・キューシート確認(予習30分・復習30分)	
13.	場当たり(2)	台本・キューシート確認(予習30分・復習30分)	
14.	場当たり(3)	台本・キューシート確認(予習30分・復習30分)	
15.	場当たり(4)	台本・キューシート確認(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%) 公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京にて俳優、演出家として数多くの作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	舞台総合Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演劇・ミュージカルの作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、振付・作曲・照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台創作における表現者の総合的な学びです。		
到達目標	演劇公演を通して自主性と協調性を兼ね備えた豊かなコミュニケーション能力の獲得を目標とする。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価する。 (1)計画を立て安全に作業を行うことができる。 (2)仲間とコミュニケーションを取り段取り良く作業を進めることができる。 (3)準備、確認を怠らず与えられた仕事を遂行出来る。 (4)時間を厳守し、仲間への感謝を述べる事が出来る。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	場当たり (5)	台本・キューシートを確認（予習30分・復習30分）	
17.	場当たり (6)	台本・キューシートを確認（予習30分・復習30分）	
18.	通し稽古A	衣裳・小道具確認（予習30分・復習30分）	
19.	通し稽古B	衣裳・小道具確認（予習30分・復習30分）	
20.	通し稽古C	衣裳・小道具確認（予習30分・復習30分）	
21.	通し稽古D	衣裳・小道具確認（予習30分・復習30分）	
22.	ゲネプロA	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
23.	ゲネプロB	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
24.	ゲネプロC	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
25.	ゲネプロD	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
26.	本番A	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
27.	本番B	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
28.	本番C	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
29.	本番D	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
30.	まとめ	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認（予習30分・復習30分）	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度（50%）公演目標達成度（50%）		
特記すべき事項	1987年～2017年東京にて俳優、演出家として数多くの作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	卒業研究 I	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げる。		
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対する学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	公演概要の説明	配布プリントを読んでおく (予習・復習各30分)	
2.	キャストオーディション	配布プリントを読んでおく (予習・復習各30分)	
3.	本読み①	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
4.	本読み②	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
5.	本読み③	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
6.	立ち稽古①	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
7.	立ち稽古②	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
8.	立ち稽古③	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
9.	立ち稽古④	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
10.	立ち稽古⑤	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
11.	立ち稽古⑥	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
12.	立ち稽古⑦	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
13.	立ち稽古⑧	前回の復習 (予習・復習各30分)	
14.	立ち稽古⑨	前回の復習 (予習・復習各30分)	
15.	立ち稽古⑩	前回の復習 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度60%、成果発表40%（各種古・本番後にフィードバックを行う）		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科 目	卒業研究 I	開講時期 履修方法	2 年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2 年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げる。		
到達目標	1 年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授 業 計 画 ( 授 業 内 容 )	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16.	衣装合わせ①	衣装の用意 (予習・復習各30分)	
17.	立ち稽古①	前回の復習 (予習・復習各30分)	
18.	立ち稽古②	前回の復習 (予習・復習各30分)	
19.	立ち稽古③	前回の復習 (予習・復習各30分)	
20.	立ち稽古④	前回の復習 (予習・復習各30分)	
21.	立ち稽古⑤	前回の復習 (予習・復習各30分)	
22.	衣装合わせ②	衣装の確定 (予習・復習各30分)	
23.	通し稽古①	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
24.	通し稽古②	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
25.	ゲネプロ①	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
26.	ゲネプロ②	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
27.	公演本番①	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
28.	公演本番②	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
29.	振り返り	本番の振り返り (予習・復習各30分)	
30.	まとめ	本番の振り返り (予習・復習各30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法			
特記すべき 事項			
質問・相談等 の 受 付			



科目	卒業研究Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する		
到達目標	作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることが出来る。		
学習成果の評価基準	授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として点検評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習(予習30分・復習30分)	
2.	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習(予習30分・復習30分)	
3.	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習(予習30分・復習30分)	
4.	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習(予習30分・復習30分)	
5.	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習(予習30分・復習30分)	
6.	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習(予習30分・復習30分)	
7.	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習(予習30分・復習30分)	
8.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
9.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
10.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
11.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
12.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
13.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
14.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
15.	歌唱稽古	発声 復習(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本 スコア		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(40%) 公演目標達成度(60%)		
特記すべき事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品を演出、出演する。		
質問・相談等の受付	随時受付		

科目	卒業研究Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。		
到達目標	作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることが出来る。		
学習成果の 評価基準	授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	歌唱稽古	発声・楽曲の復習（予習30分・復習30分）	
17.	ダンス稽古	ストレッチ 予習（予習30分・復習30分）	
18.	ダンス稽古	ストレッチ 予習（予習30分・復習30分）	
19.	ダンス稽古	ストレッチ 予習（予習30分・復習30分）	
20.	ダンス稽古	ストレッチ 予習（予習30分・復習30分）	
21.	ダンス稽古	ストレッチ 予習（予習30分・復習30分）	
22.	ダンス稽古	ストレッチ 予習（予習30分・復習30分）	
23.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
24.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
25.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
26.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
27.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
28.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
29.	歌唱とダンス稽古	ノート確認（予習30分・復習30分）	
30.	まとめ	達成度の振り返り（予習30分・復習30分）	
教科書	上演台本 スコア		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 公演目標達成度(60%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品を演出、出演する。		
質問・相談等 の受付	随時受付		